

第246回愛知学院大学モーニングセミナー

幕府の運命・日本の運命

—小栗上野介の日本改造—

／小栗忠順は江戸っ子

／「官軍」は、悪い決めつけ言葉→「西軍」あるいは「明治政府軍」

／遣米使節帰国後8年間の業績

東善寺 住職
村上 泰賢

2026年9月8日

ペリー訪日で開国

1853

Perry



▲ペリーの訪日100年記念の切手 1953年米国で発行

東善寺蔵

遣米使節は3人(三使)・1860万延元年

Deregation

正使・新見豊前守正興(38)
副使・村垣淡路守範正(47)



目付・小栗豊後守忠順(34)
(のち上野介)

OGURI

第二図 遣米使節正使・副使および監察立像 正使新見正興(中央)。
副使村垣範正(左)。監察小栗忠順(右) (解説 341 号参照)

遣米使節三船

ポウハタン号

Powhatan



模型 東善寺蔵

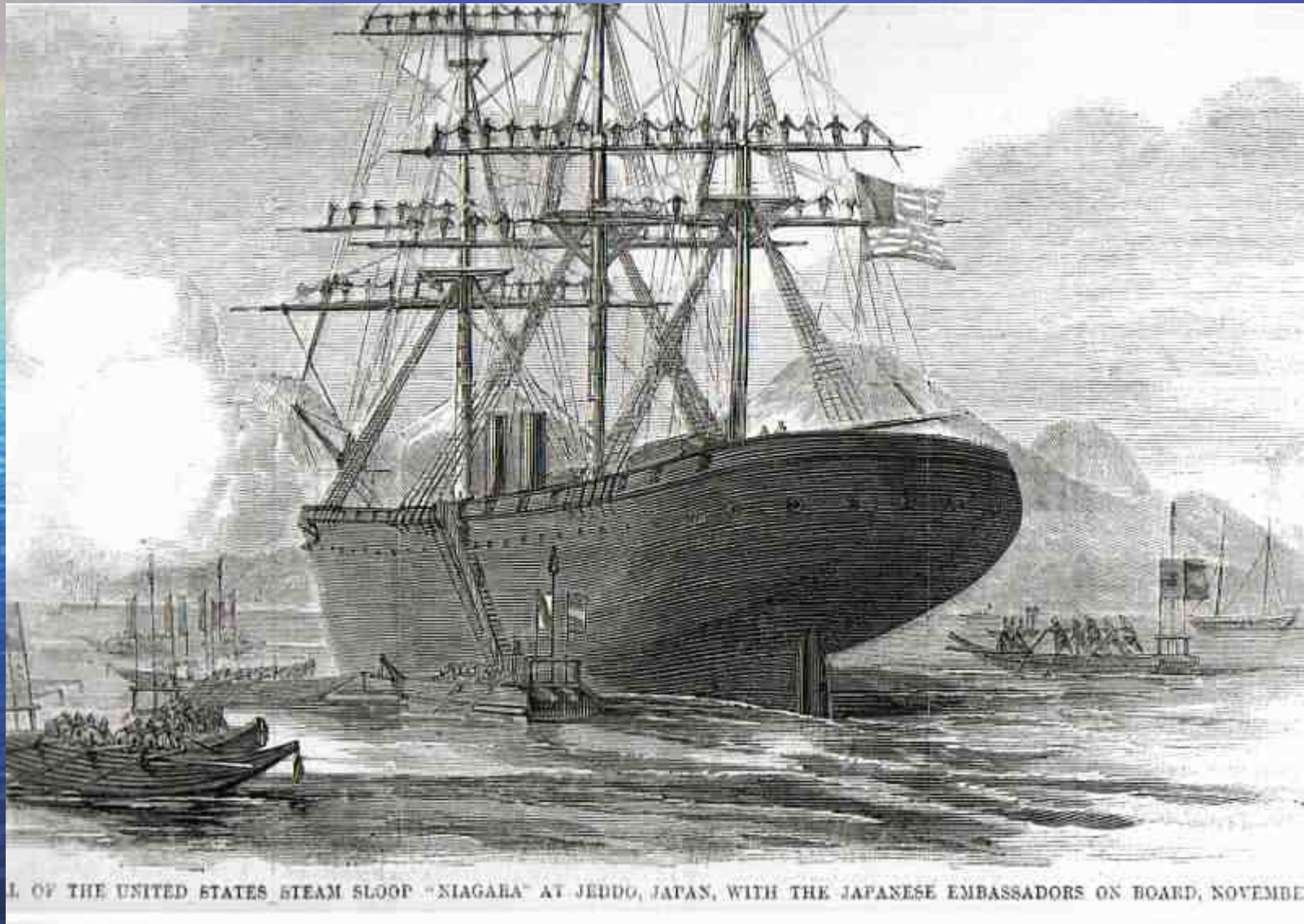
遣米使節三船

ロアノウク号 でワシントンへ Roanoke



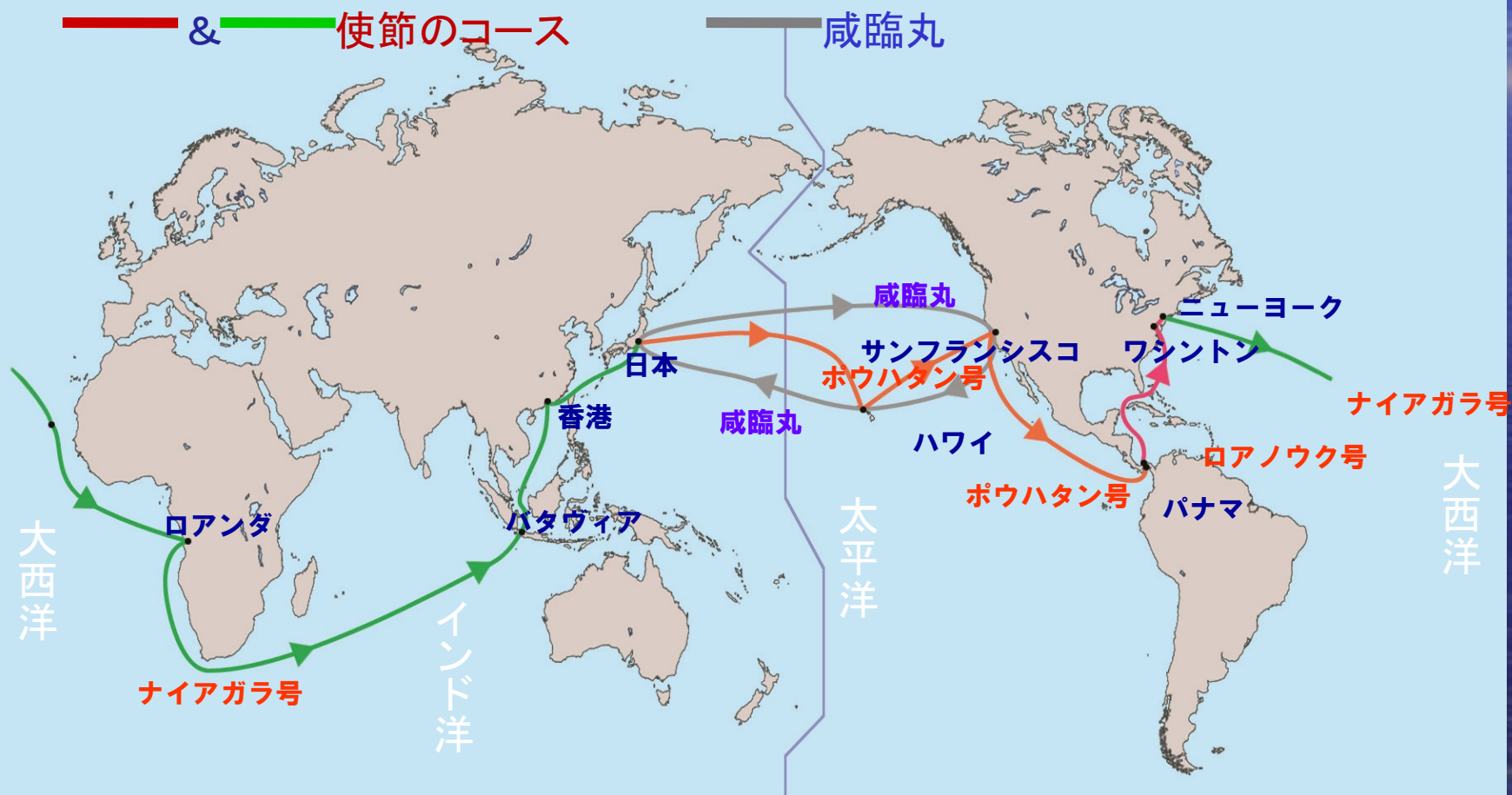
フランクレスリー・イラスト新聞

遣米使節三船 ナイアガラ号で帰国 Niagara



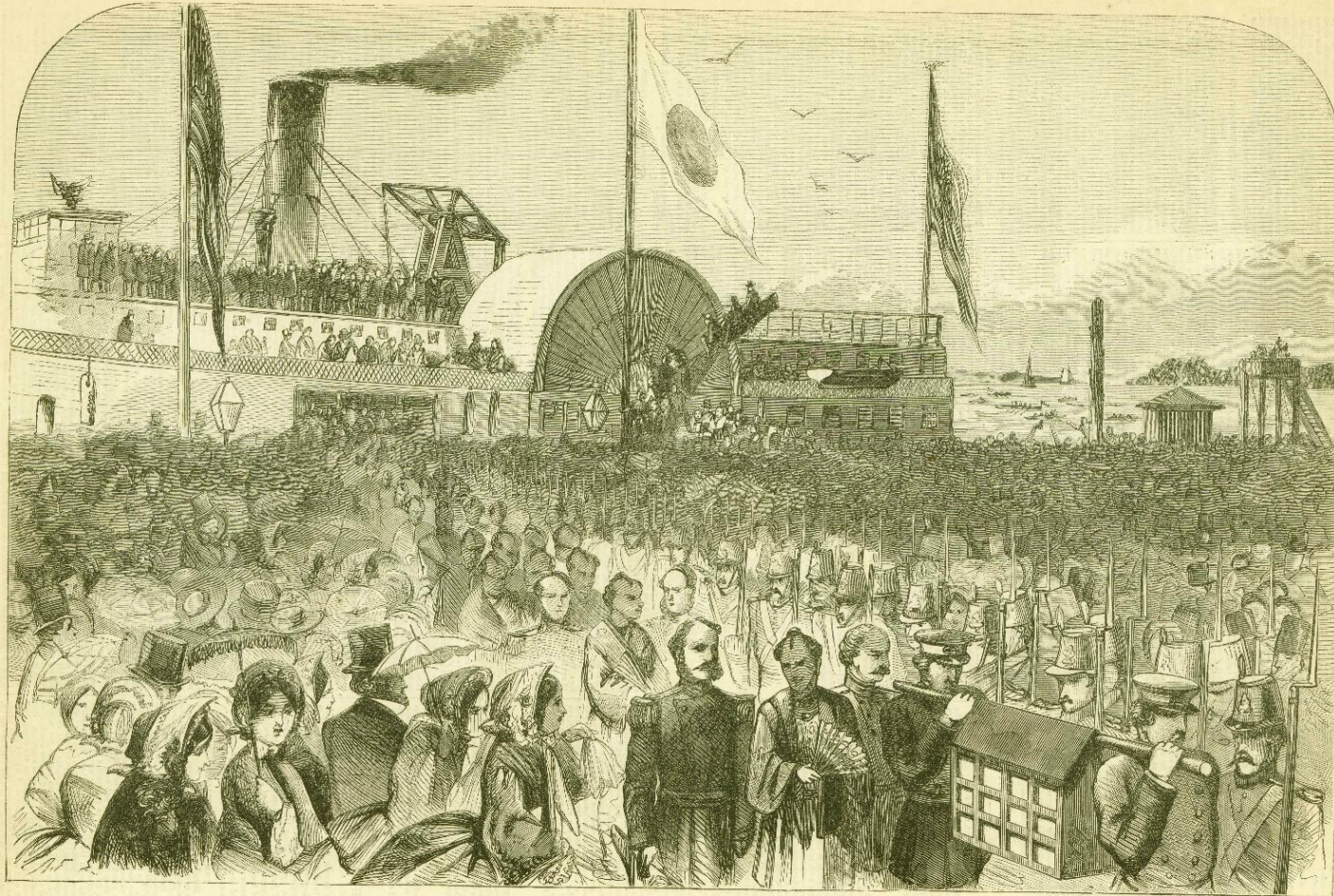
米海軍資料局提供・ワシントン

日本人初の世界一周



ワシントンに上陸

1860.5.14



THE LANDING OF THE JAPANESE EMBASSY, WITH THE TREATY IN A BOX, AT THE NAVY YARD, WASHINGTON.—[SEE PAGE 327.]

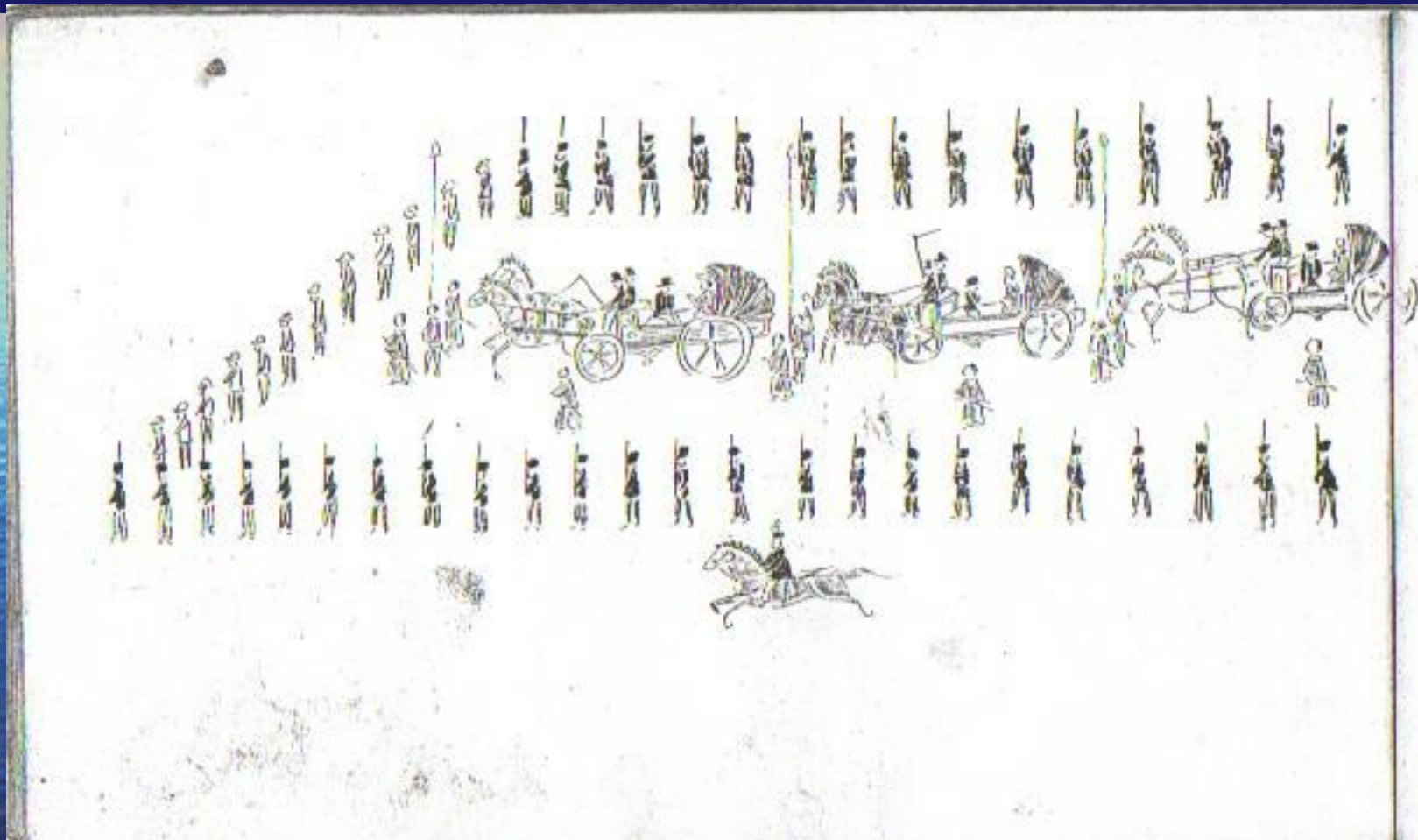
328

HARPER'S WEEKLY.

May 26, 1860.

ハーパズウィークリー新聞

ホワイトハウスへ向かう一行



小栗の従者・佐藤藤七「渡海日記」

ブキャナン大統領に謁見

ホワイトハウス

President J. Buchanan

White House



FRANK LESLIE'S ILLUSTRATED NEWSPAPER.— Reception of the Japanese Ambassadors by the President of the United States, in the East Room of the White House, at Washington, on Thursday, May 17.

フランクレスリーイラスト新聞

ブロードウェイの進行

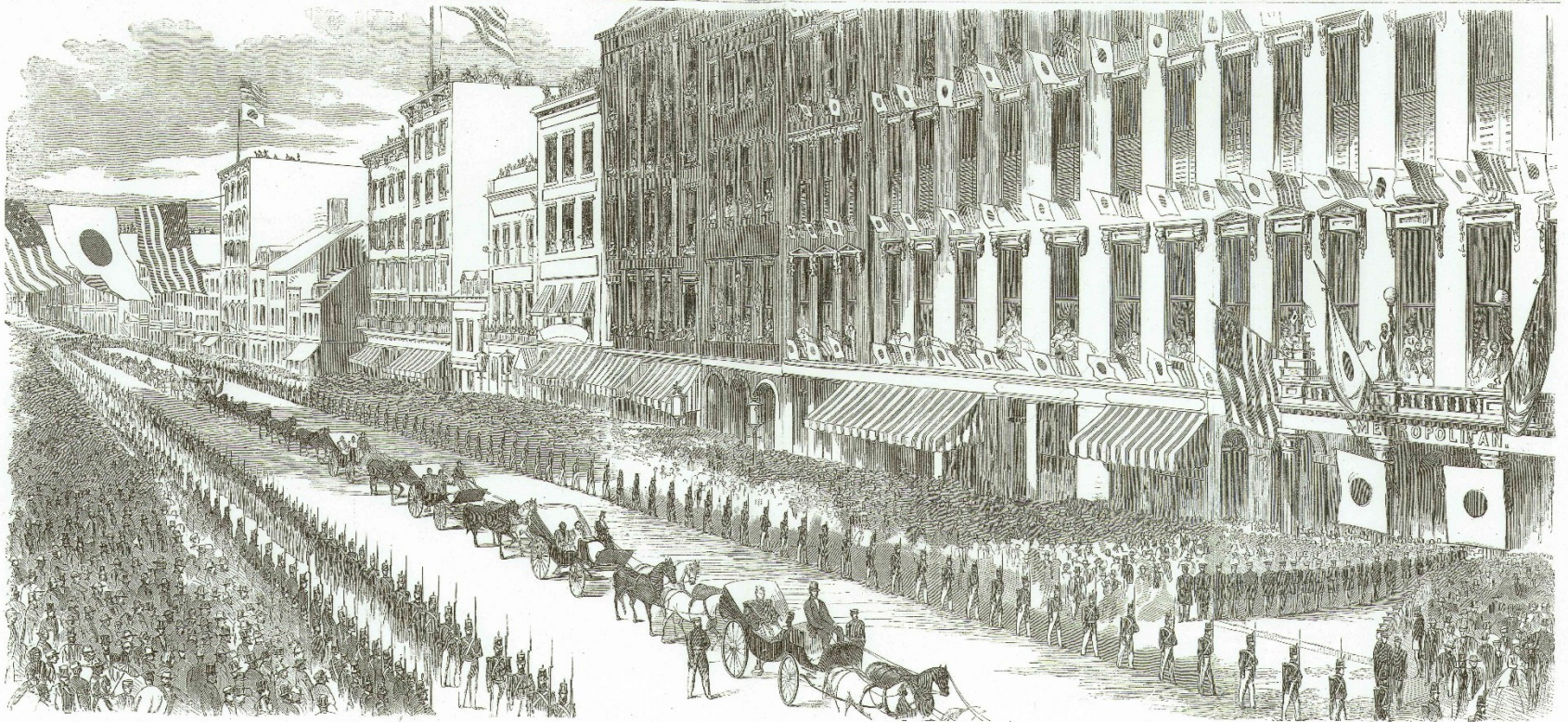
Broadway Metropolitan Hotel New York

メトロポリタンホテル前

136

THE NEW-YORK ILLUSTRATED NEWS.

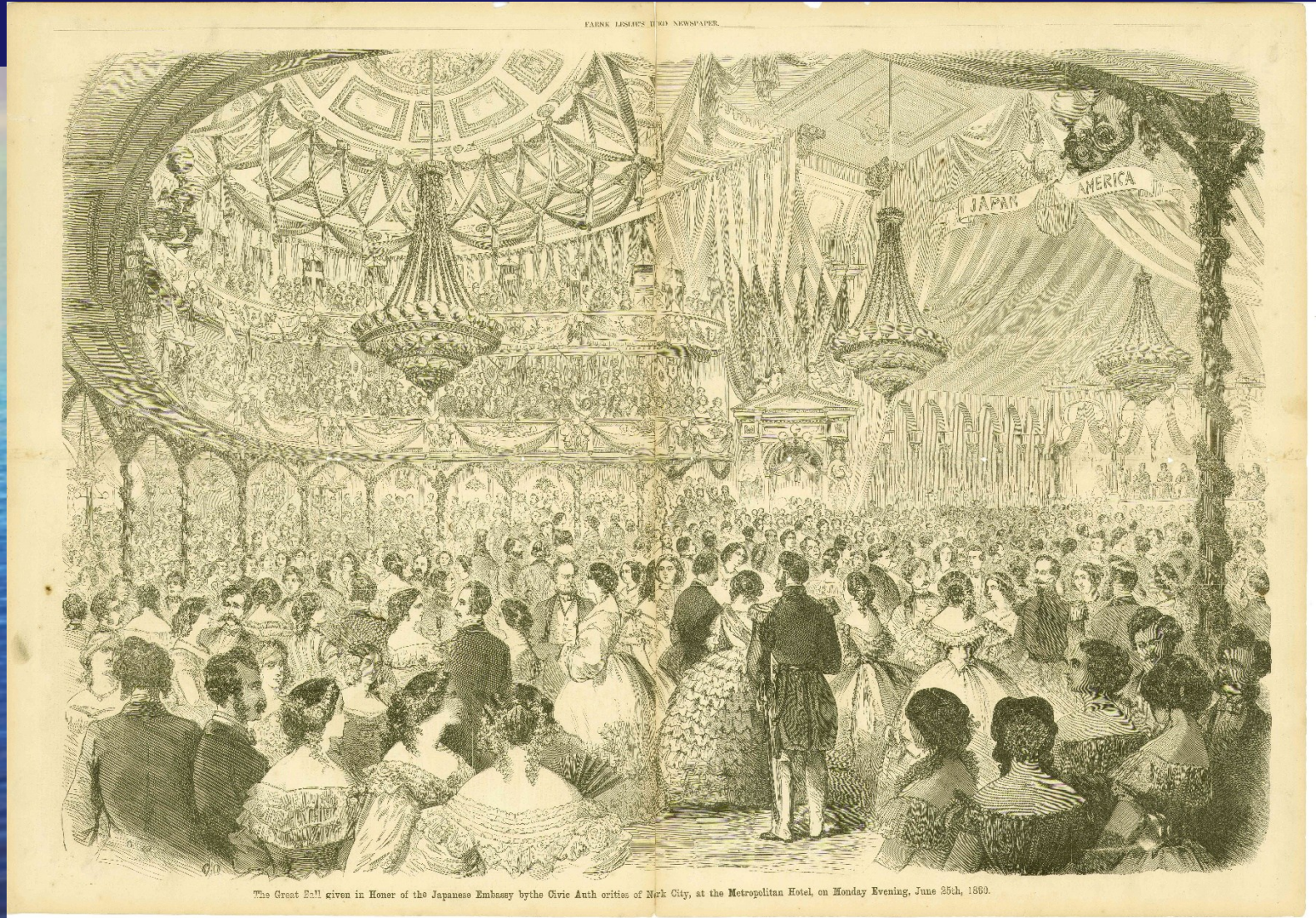
137



GRAND PICTORIAL REPRESENTATION OF THE PROCESSION UP BROADWAY, IN HONOR OF THE ARRIVAL OF THE JAPANESE EMBASSY, ON SATURDAY, JUNE 16, 1890.

歓迎大舞踏会

ホテルメトロポリタン



フランクレスリーイラスト新聞

アメリカの新聞が報道する日本人

●「彼らは財布をはたいてあらゆる種類の反物、金物、火器（銃）、宝石類、ガラス器、光学機器のほか我々の創意と工夫を示す無数のものを買う。我が国と日本との通商の道が十分に開放されれば、これらの物品はそっくりまねされ改良されて、わが国に戻ってくるに違いない」このあとに日本人でただ一人「小栗豊後守はアメリカの進んだ文明の利器を日本に導入することに大賛成だと言われている...」と紹介されている

（ニューヨークタイムズ1860年6月22日）

近代化を遅らせた不毛の攘夷運動

- 九月二十八日、九ヶ月の旅終え帰国
- 派遣責任者の井伊大老は桜田門で暗殺され、攘夷の風潮が盛んな国になっていた = 渡米の見聞を自ら語れない国

■ 「小栗一人はばかりことなく米国の進んだ文明の見聞を説き、政治・軍備・商業・産業については外国を模範とすべき、と遠慮なく論じて幕府のものたちを震え上がらせた」

(福地源一郎『幕末政治家』)

◆ 小栗忠順は帰国後「造船所建設」を言い続け、4年目に幕閣で決定、5年目(1865慶応元年)に着工

小栗上野介忠順^{ただまさ}

幼名剛太郎 豊後^{ぶんごの} 守^{かみ}

1827文政十年～1868慶応四年 42歳

- 神田駿河台 旗本小栗忠高(新潟奉行で死去)の長男
- 明治以後小栗の名が知られていないのは→上州権田村に帰農許可を得て隠棲・西軍(明治新政府軍)が無実の罪で殺害・家財を没収・競売して軍資金とした＝明治政府の汚点(トラウマ)→
 - 明治政府が始めた学校教育で小栗上野介の人物・業績を教え(られ)ない・教科書に載せ(られ)ない

小栗上野介忠順

旗本 2700石

駿河台生まれ

1827(文政10)

～1868(慶応4)



村上照賢 画

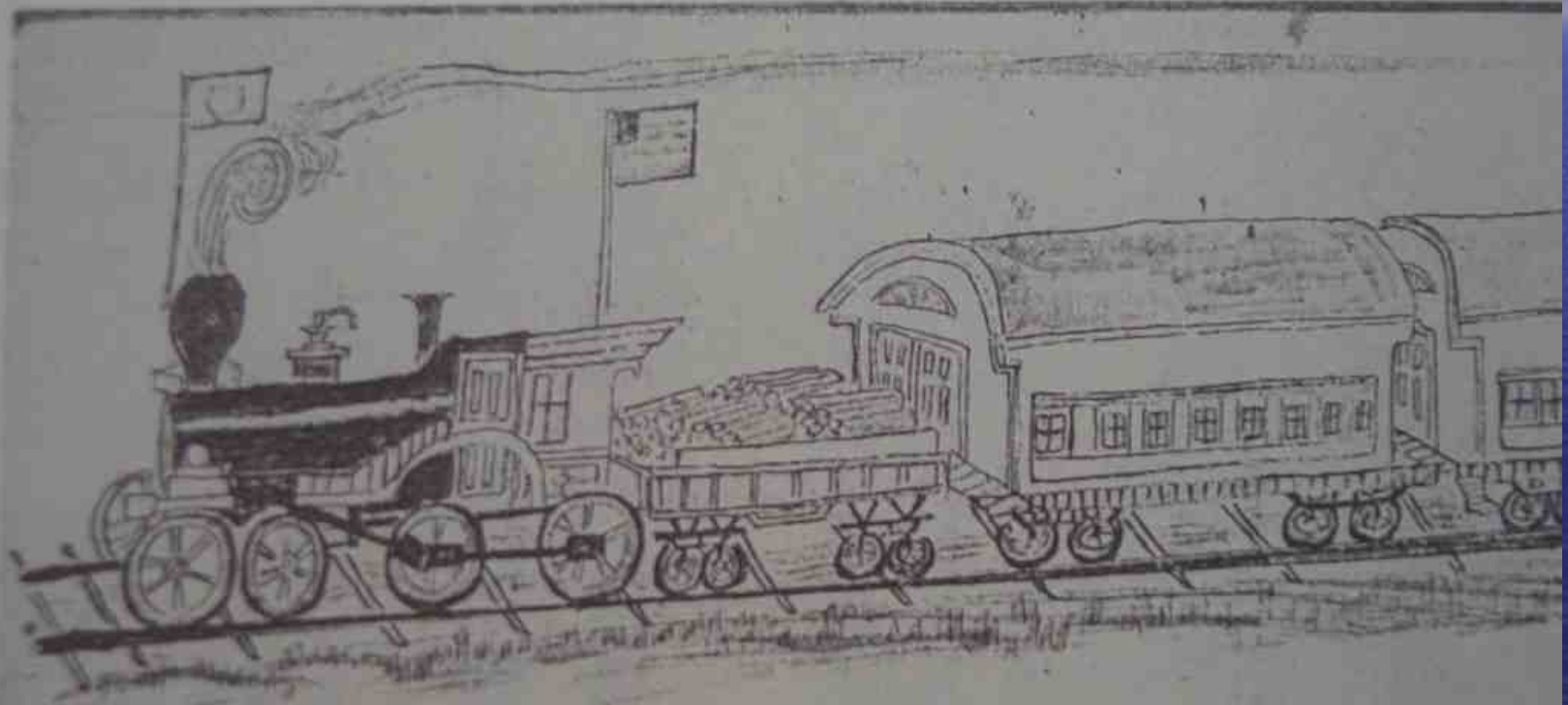
帰国後8年間の 日本近代化の業績

- 1 横須賀造船所建設 フランスの技術指導
- 2 フランス式陸軍制度(歩兵・騎兵・砲兵)の採用、訓練
- 3 フランス語学校設立(横浜)
- 4 鉄鉱山の開発 中小坂鉄山(群馬県下仁田町)など
- 5 日本最初の株式会社「兵庫商社」を設立
- 6 滝野川大砲・火薬製造所
- 7 ガス灯・郵便(書信館)・電信・鉄道・新聞の開設提唱
- 8 中央銀行・商工会議所・金札発行など金融経済の立て直し提唱
- 9 郡県制度の提唱
- 10 森林保護の提唱

パナマ鉄道で大西洋側へ出る

Panama railroad

第1部 渡海日記



コレは
オニ
ノ
載
載
九
双
車
鉄
鉄
是
終
朝
車

権田村名主・佐藤藤七「渡海日記」

パナマ鉄道は株式会社

車中で日本人が質問

- ①鉄道の建設費はいくらかかったか
- ②費用はどうやって工面したか

説明(答)

- ① 建設費用は約700万ドル
- ② 民間の商人から出資金を募った鉄道組合が建設し、完成すると利用賃で運営し、利益が出ると出資額に応じて出資者に分配するやり方

「コムペニー」 ...幕末に日本に入っていた外来語

コムペニーは「モノの売り買い」だけでなく、

社会資本(インフラ)整備も できるのか！！・・・(小栗の理解)

日本初の株式会社「兵庫商社」

兵庫開港 で小栗が提議 これまで横浜長崎の貿易では
「日本商人・・・**個人商人**・**小資本**
外国商人・・・「**商社** company」・個人ではない・**大資本**」

「小資本の日本商人は大資本の外国商人に操られ、日本人商人間の競争になって、外国商社に利益が持ってゆかれています。いずれ、商人だけでなく日本国全体の損失になってゆく」

兵庫開港では、「大阪の商人20人程で**兵庫商社**を作り、誰でも加入でき、商社を窓口とした外国との対等な商売で、利益が見込める。」「売っても買っても政府には関税利益が入る」

「その利益で→**ガス灯**、**書信館**(郵便)・**電信制度**、**鉄道**(江戸～横浜)を設置したい」

*『広辞苑』・・・「商社 companyを小栗忠順が訳した言葉」

兵庫商社 ... 役員・定款が揃った日本最初の株式会社
講談社

坂本藤良「小栗上野介の生涯」

鳳凰の絵 ■ 北斎 ■ 長野県小布施町岩松院

Hokusai

本堂の天井画



高井鴻山

・長野県小布施町



高井鴻山記念館前



“船会社”

設立構想

松代藩へ提出

小栗上野介の助言で

信越の商人が出資→職人・農民の産物を運んで外国商人
に販売→利益は職人・農民にも→**国民利福の道**

につなげたい Ⅱ兵庫商社の**理念**でもある

幕府解散・小栗免職で幻の“船会社”

築地ホテル Tsukizi Hotel



三代目 広重画

Hiroshige III

東善寺蔵

清水喜助

・清水建設二代目

写真清水建設

慶応三年八月着工、慶応四年八月完成（九月から明治元年）

東京」のシンボルマーク



●江戸にホテル建設

勘定奉行小栗から町人に話があつた

江戸に外国人居留地↓ホテルが必要↓町人からの出資でホテル組合を作り、建設。完成後は利用賃で運営し、運営費以上に利益が出たら↓出資者に分配する 誰かやるものはいないか

築地木テル

写真: 清水建設提供



ワシントン海軍造船所見学

Washington navy yard

一大総合工場 鉄製品(蒸気機関で蒸気機関を造り・パイプ・シャフト・プロペラ・大砲・砲弾・小銃・鍋・釜・ナイフ・スプーン...)、製帆所で帆、木工所で船体・船室・床・階段・手摺、製綱所でロープ...船も造る総合工場だった



国際レース「近代化」 は始まっていたと痛感／日本は造船所から近代化できるのでは...課題:どの国の指導・どこに・何年・いくらかかるか

小糸忠順 Oguri

ネジ釘

小栗忠順のアメリカ土産・東善寺蔵



- 「こういうものをどんどん作れる国にしたい……」

アメリカの新聞が報道する日本人

●「彼らは財布をはたいてあらゆる種類の反物、金物、火器（銃）、宝石類、ガラス器、光学機器のほか我々の創意と工夫を示す無数のものを買う。我が国と日本との通商の道が十分に開放されれば、これらの物品はそっくりまねされ改良されて、わが国に戻ってくるに違いない」 このあとに日本人でただ一人「小栗豊後守はアメリカの進んだ文明の利器を日本に導入することに大賛成だと言われている...」と紹介されている

（ニューヨークタイムズ1860年6月22日）

近代化を遅らせた不毛の攘夷運動

- 九月二十八日、九ヶ月の旅終え帰国
- 派遣責任者の井伊大老は桜田門で暗殺され、攘夷の風潮が盛んな国になっていた = 渡米の見聞を自ら語れない国

■ 「小栗一人はばかりことなく米国の進んだ文明の見聞を説き、政治・軍備・商業・産業については外国を模範とすべき、と遠慮なく論じて幕府のものたちを震え上がらせた」

（福地源一郎『幕末政治家』）

横須賀造船所 Yokosuka Ship yard

横須賀製鉄所→造船所→海軍工廠→米海軍横須賀基地

初め 長浦湾...浅かった

横須賀が選ばれたのは

- 1, 水深が20m以上 造船・進水に適している
- 2, 北に開口 太平洋の大波を避ける
- 3, 山が迫っていて 造船の風よけになる
- 4, 土丹岩 ドックに適している



日本産業革命の地・横須賀の恩人

ヴェルニーと小栗上野介



レオンス・フランソワ・ヴェルニー胸像

朝倉文夫作 横須賀市「ヴェルニー公園」



小栗上野介胸像 倉渕町東善寺
朝倉文夫作

横須賀製鉄所

慶応四年七月(九月から明治元年)

海岸の45mの白仙山(岬)の東裾を掘って、
最初の1号ドックを造った。すべて人力でー

製綱所



Arsenal de Yokosuka.

画像提供: 安池尋幸氏

横須賀製鉄所 1862

日本産業革命の地・横須賀造船所 4つの特徴

- 1、何でも造る総合工場
- 2、蒸気機関が原動力
- 3、人材育成機関で人づくり
- 4、近代経営の方式定着

製綱所

時計

「横須賀製鉄所」・・・「arsenal兵器武器の製造施設」を製鉄所と訳した。明治5年「造船所」→「海軍工廠」→「米海軍横須賀基地・修理のみ」
＊ 明治4年までの「製鉄所」は要注意の歴史用語

日本産業革命の地 横須賀造船所

1、何でも造る総合工場

* 蒸気機関を原動力に蒸気機関も造っていた

製綱所(ロープ工場) 273m



Yokosuka.

28/xi/1868

製帆所



日本産業革命の地 横須賀造船所

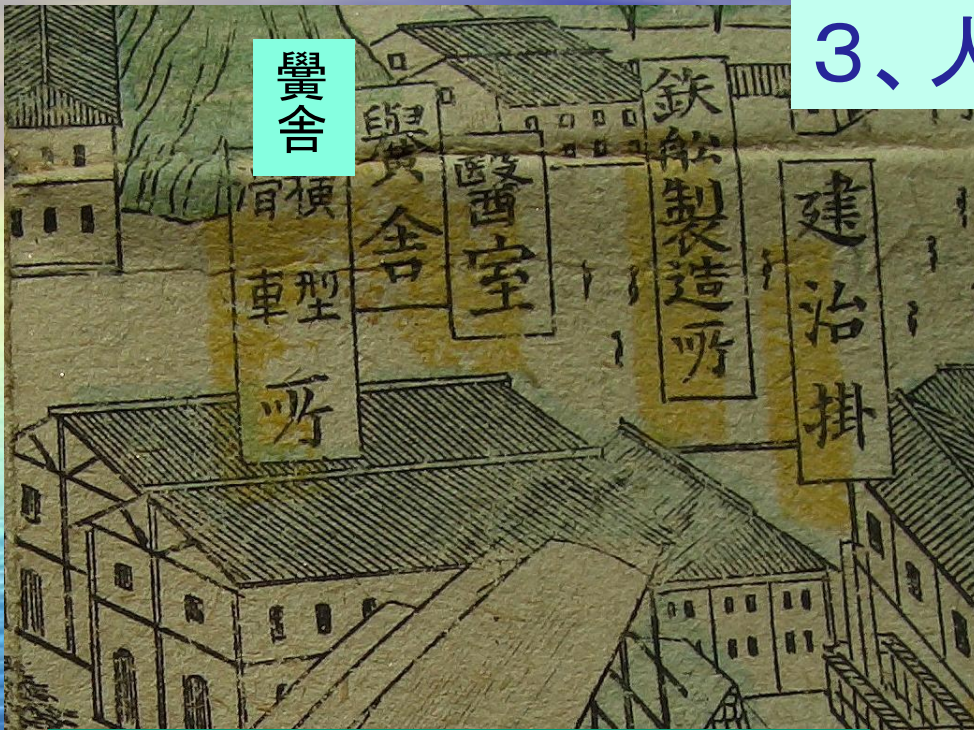
2、蒸気機関が原動力



日本産業革命の地 横須賀造船所

3、人材育成機関で人づくり

覺舎



覺舎 2種類

- 1、大学理工学部に相当
- 2、技術職工を養成

機関学校



機関学校

- 1、高級幹部技術将校を養成

日本産業革命の地 横須賀造船所

4、近代経営の定着

定時労働、日曜休日、メートル法、課長係長などの職階と責任、年功給・技能給、複式簿記など

* 日本人がフランス式経営に合わせて働いた＝生活革命



スチームハンマー・マザーマシン 平成8年11月撮影

建設中の横須賀造船所見学・感想 1867慶応三年二月

フランス海軍士官エドゥアルド・スエンソン『江戸幕末滞在記』より

●日本人職人の理解力・応用力

「・・・ひょっとすると日本人の職人の方が西欧人より優秀かも知れなかった。日本のものよりはるかにすぐれている西欧の道具の使い方をすぐに覚え、機械類に関する知識も簡単に手に入れて、手順を教えてもその単なる真似事で満足せず、自力でどんどんその先の仕事をやってのける。日本人の職人がすでに何人も機械工場で立派な仕事をしていた。」

●工事の様子

「・・・何千人もの日本人は相変わらず敷地を広げるべく働いており、岩山を崩し、容積の大きい山を人手だけで除き去っていた。その作業の一部始終を見るにつけ、すでに完成されている部分を成就するのにいかほどの重労働が必要とされたかが思いやられるのだった。重そうな大槌で労働者がまず地面に杭を打ち込む。それを何度も揺り動かして地面を崩し、大きな土の塊にして落としてから籠(畚)に入れ、凹地まで運んでいってそこを埋める。この作業は何時間見ても飽きることがなかった。何千ものモッコが運ばれても山はいっこうに消えそうもなかったが、この果てしなく続けられる仕事、見事な結果をもたらしたのだった・・・」

日本産業革命の地(マザーマシン) 横須賀造船所から全国へ

群馬県

- 富岡製糸場 は横須賀の妹
- 中島飛行機 は横須賀の弟

広島県

- 呉海軍工廠 は横須賀の弟

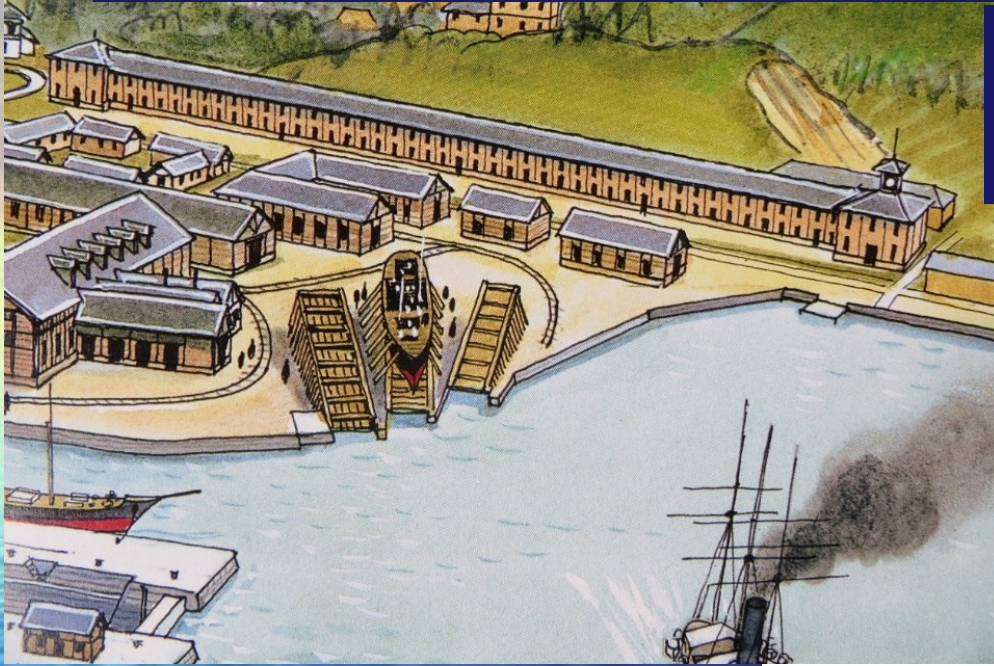
兵庫県

- 生野銀山 は横須賀の義弟

富岡製糸場は横須賀造船所の妹

横須賀造船所

製綱所 273m



富岡製糸場

東置繭所 104m

西置繭所も



富岡製糸場は横須賀造船所の妹

横須賀にならって**仏式設備と経営**

■ **設備** (ハード) … **設計図** → 横須賀で製綱所など横須賀の建物がモデル・条件**50日**で書いた。

建築 → バスティアン横須賀造船所建築技師と横須賀の日本人大工も富岡へ

■ **経営** (ソフト) … **フランス式経営** = 日曜休日制 / 企業内学校 (裁縫・料理) / 複式簿記 / 健康診断 / 年功給技能給 など横須賀に倣った経営

- 横須賀と同じ **蒸気機関が原動力**

世界遺産	富岡製糸場	1871明治四年着工	工期 1 年・予算 24 万ドル
日本遺産	横須賀造船所	1865慶応元年着工	工期 4 年・予算 240 万ドル

中島飛行機は横須賀造船所の弟

中島知久平 「機関学校を出た」＝横須賀海軍機関学校

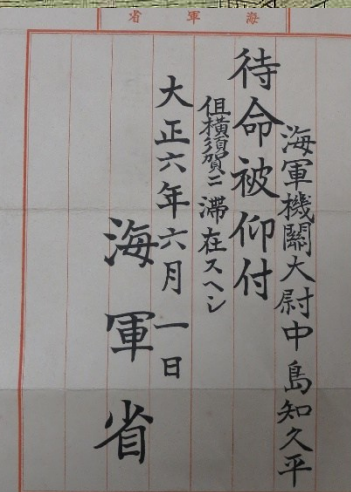


機関学校

◆群馬県尾島村(太田市)の農家出身

■飛行機は民間で造るべき… 陸軍海軍はそれを買って使えばいい

民間会社なら**1年に12回モデルチェンジ**できる
尾島村に借りた養蚕小屋で「飛行機研究所」→
太田町で「飛行機製作所」→「**中島飛行機** 呑龍工場」誕生



小栗上野介の言葉

幕府の運命・日本の運命

横須賀造船所建設の反対論「幕府の運命もなかなか難しい。造船所を作っても出来上がる頃に幕府はどうなっているか・・・」に対して、小栗は

- 「幕府の運命に限りがあるとも、日本の運命には限りがない。幕臣の私がしていることは結局日本のためであって、幕府のしたことがのちに日本のためになっているといわれれば幕府の名誉ではないか、国の利益ではないか・・・」
- 「出来上がればいずれ**土蔵付き売据**の栄誉が残せる」

土蔵・・・横須賀造船所 **売据**・・・居抜き物件

日本の将来のために**土蔵(造船所)**を残す

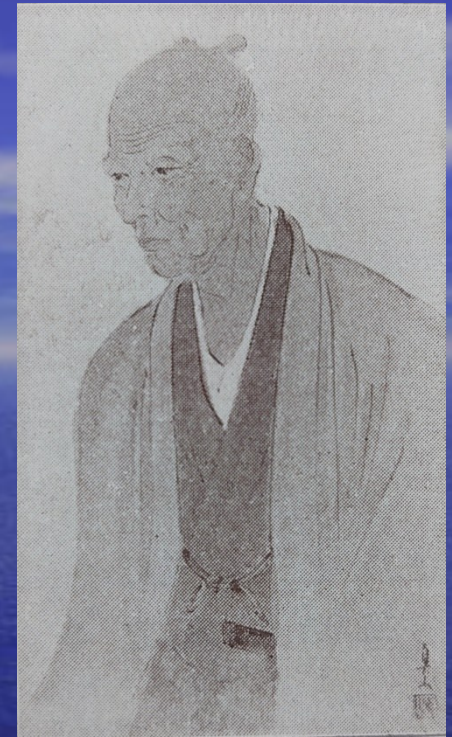
漢学(儒学)の師 安積良斎

あさか

ごんさい

儒学・・・政権交代を認めている
父子相伝、万世一系の政治ではない

門弟2,282人 小栗忠順、栗本鋤雲、岩崎弥太郎、吉田松陰、前島密、高杉晋作、木村喜毅、楫取素彦、秋月悌次郎、川路太郎(聖謨としあきらの嫡孫)、清河八郎、権田直助、谷干城、中村正直・福地源一郎・箕作麟祥・・・



小栗上野介の言葉

- 「親の病気が重くて、もう治る見込みがないからと言って薬を与えないのは孝行ではない」
- 「国が滅びても、この身が倒れるまで公事に尽すのが、真の武士である」

東郷平八郎 Fleet admiral Tohgoh



日本海海戦に勝つことが出来たのは、小栗さんが横須賀造船所を造つておいでくれたおかげ……」

東郷平八郎・明治四十五年

仁義禮智信

壬子夏
小栗忠人
書

平成9年寄進 小栗忠人 東善寺蔵

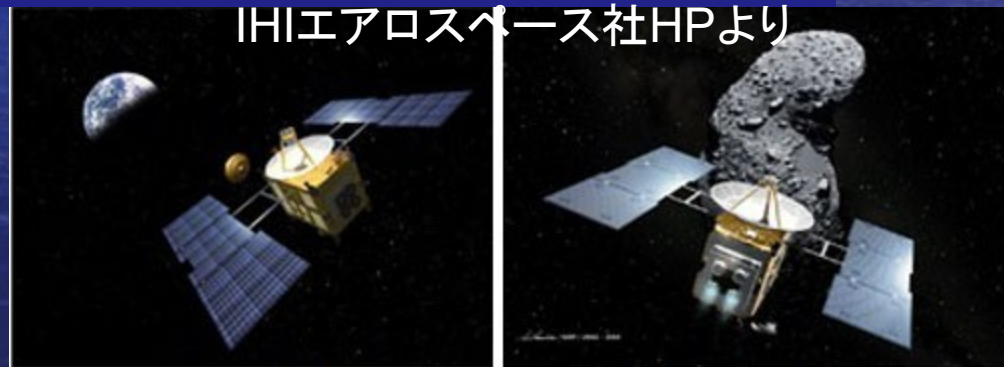
今に活きる造船の技術

■近代工学は造船工学～飛行機工学～現在は宇宙工学がトップ

■造船技術は今もシールドマシン、宇宙ロケットなどの最先端工学で生きている



名古屋市上下水道局HP



はやぶさの帰還

はやぶさとといとかわ

横須賀造船所→中島飛行機→プリンス自動車→日産プリンス→IHIエアロスペース



ヴェルニー・小栗祭

毎年11月15日ごろ

1912大正4年から続く式典



横須賀市ヴェルニ公園

Verny-Oguri festival yokosuka



フランソワ・レオン・ヴェルニー(1837~1908)

フランス人の海軍技術で、海軍提督をあげたのは、軍事の要請に
より横濱製鉄所(西船所)建設の責任者として1893年(明治26年)
明治維新前も引き継ぎその建設と運営の任にあたり、明治維新の
治水の水運の整備、レンガの製造のほか、製鉄所に洋学学校を
設けて日本人技術者の養成に努めるなど、造船以外の分野でも活
躍してその功績を確立した。

1837~1908)

François Léonce VERRY (1829-1876) was a French naval engineer, came to Japan in 1863 to help with the change of the Tokusoku Arsenal construction at the request of the Tokugawa Bakufu government whose aim was to strengthen the country's naval forces. His duties as administrator and constructor extended beyond the construction of the Kanmoriyama Arsenal, to the construction of the Kanmoriyama Arsenal, the Meiji Reformation, the Hoshizumi waterway, and the development of the Yokohama harbor. He also established a technical school in Yokohama. He also established a technical school in Yokohama. He also established a technical school in Yokohama.

〈建碑の困難〉

明治以後「逆賊」扱いされた小栗上野介

高崎警察署長からクレーム→かわして**建立**

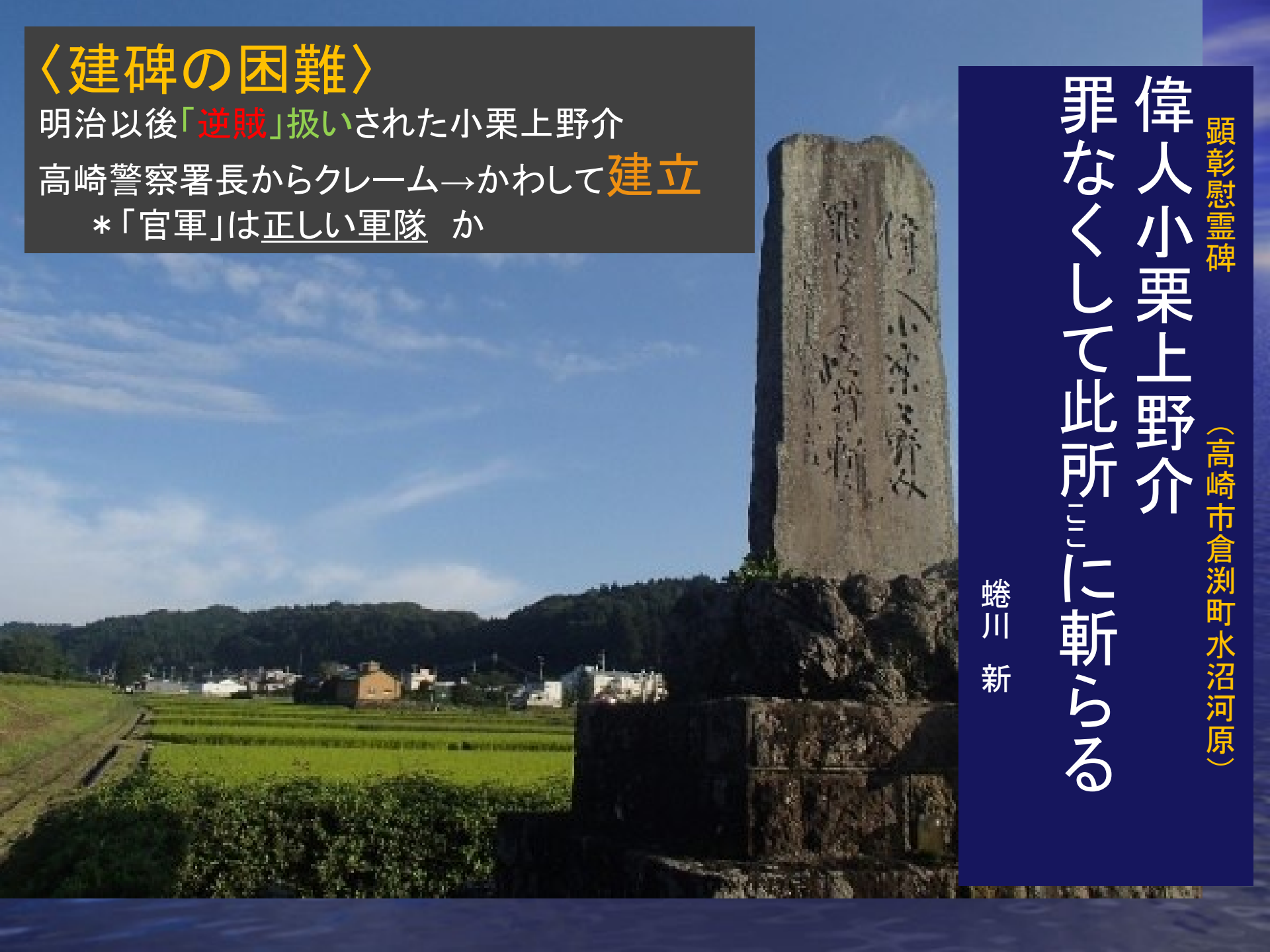
*「官軍」は正しい軍隊 か

顕彰慰霊碑

(高崎市倉渚町水沼河原)

偉人小栗上野介
罪なくして此所に斬らる

蜷川 新



- ◆明治政府＝薩長政府に都合のよい歴史―「薩長史観」という
- ◆「小栗上野介」と「横須賀造船所」とその建設原点になった「万延元年遣米使節」について明治～隠蔽し続けている教科書の扱いは「薩長史観」の典型例
- ◆目標 教科書に掲載して小中高校で教えること

●小栗忠順の人物・業績が知られていない・・・「逆賊」は西軍(明治政府軍)が小栗を殺害したあと貼ったレッテル。西軍(明治政府軍)が殺した人物をすべて「逆賊」としてきた明治政府は、逆賊だから教科書に名前・業績を載せない、殺されて当然の扱いをしてきた。その歴史が続いている(現在も...教科書で)。

●横須賀造船所の意義・価値を学校で教えない...明治政府は学校で「日本が近代化したのは明治の文明開化以後(＝明治以前の幕府政治は遅れた政治)」と教え、例として富岡製糸場(1872明治5年)をあげている

横須賀造船所は1865慶応元年に着工し、1868慶応四年(9月から明治元年)にほぼ完成、すべての工場が蒸気機関フル稼働でモノづくり。それを教えると、「明治以後の文明開化で日本は近代化」というストーリーが崩れるから教え(たぐられ)ない(現在も...)。まして小栗上野介の名前が出るのは不都合だから教え(たぐられ)ない

●「万延元年遣米使節(1860万延元年)」の史実を教科書で教えないのは・・・明治政府が派遣した岩倉米欧視察団(1872明治4～6年)が日本近代化に功績があったとして目立たせたい・・・遣米使節は「咸臨丸」「勝海舟」の修身教科書のオハナシで隠蔽してきた

小栗まつり

毎年5月下旬

高崎市・東善寺

昼市



墓前祭



道子夫人ら会津へ逃避行

権田村↗坂上村(東吾妻町)↗和光原(旧六合村・中之条町)↗野反池↗地蔵峠↗秋山郷↗六日町↗長岡↗新潟↗会津／女児(国子)出産／二名戦死／会津↗東京↗静岡
↗権田村帰郷

や
山駕籠の 奥方守る 村人二十余名
小栗かるた



◆小栗公顕彰活動の原点
会津逃避行を護衛した村人の行動
・小栗さま」の村

4. FRIGATE BULDOZER, WITH THE JAPANESE AIRCRAFT, APPROXIMATELY 1000 HRS. WEDNESDAY 12 APRIL, AND DESTROYED A FIGHT BOMBING PLANE THAT WAS LAUNCHING NO. 1 - AFTER SHE HAD ABANDONED OPERATIONS (ONE WITH BOMBING) ON THE NATI WIRE WEST OF BOARD, OR BOMBING WAS TO BE DONE AT ONCE TO FARMER ROAD.

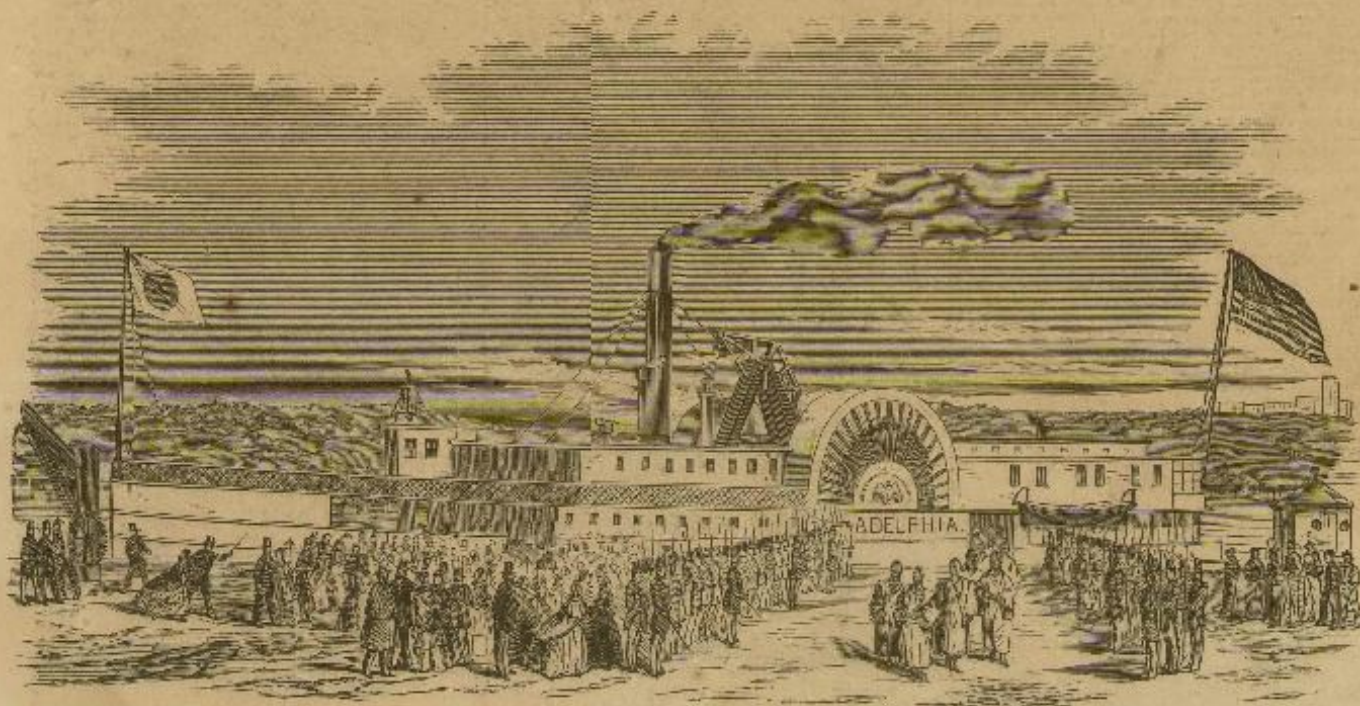
OUR JAPANESE VISITORS.

日本人よ、

丁列を作

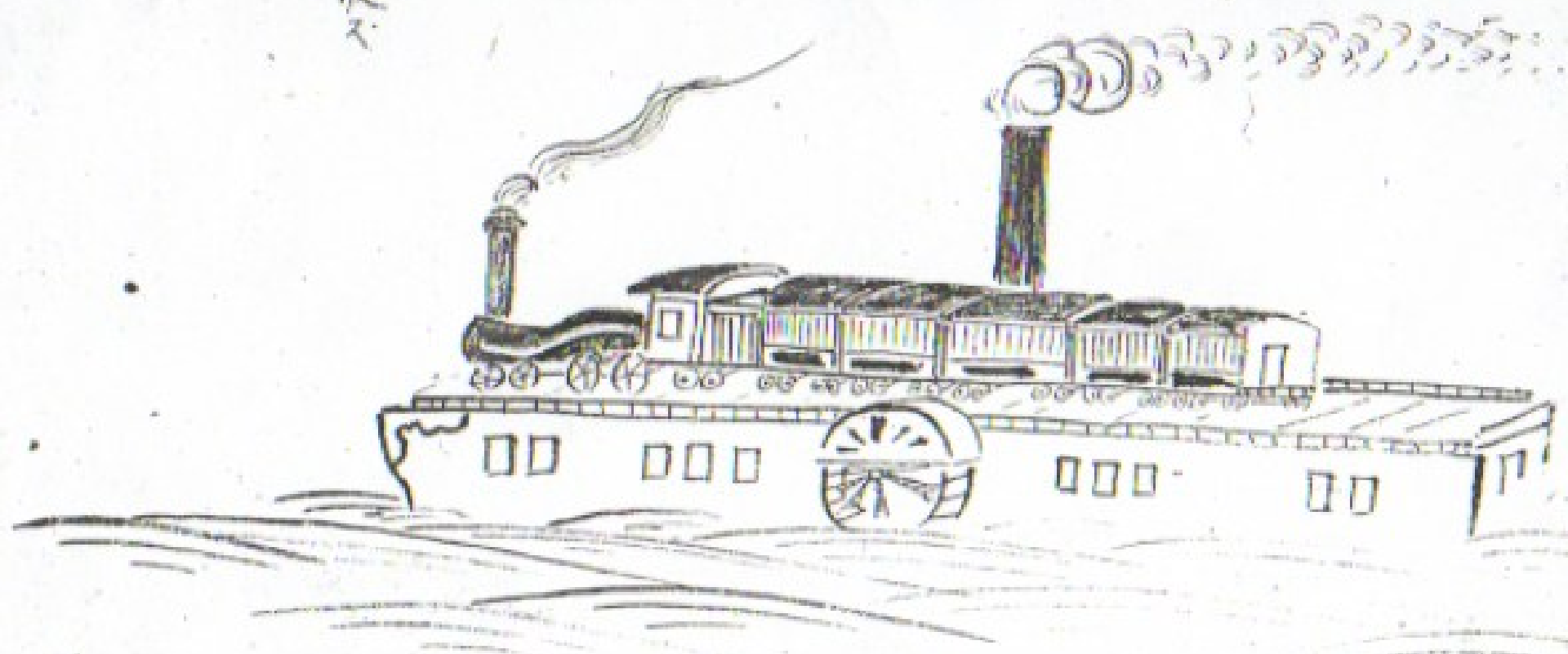
Before penning the above, a rumor of the death of Mr. Harris had reached us. It is needless to say that especially at the present time such an event might be regarded as a national calamity. We can only trust that the report is unfounded.

Probably no foreigner was ever treated with more distinction by the Japanese than Mr. Harris, and his influence was entirely moral.

[illegible]

ARRIVAL OF THE KRAEMER TRILACUENTS, WITH THE JAPANESE AMBASSADORS AND THEIR SUITE, AT THE NAVY YARD, WASHINGTON, AT 11 1/2 O'CLOCK A.M., WEDNESDAY, MAY 14.

蒸気
車
蒸気
船
ニテ
渡ス



帰国した日本 不毛の尊王攘夷運動

尊王運動 ……理想の政治を行う「天皇親政」に戻せ→天皇の神格化→敗戦→昭和21年1月1日詔書「神話伝説の存在否定」

攘夷運動 ……外国人は追い払って国を守れ→排外主義→廃仏毀釈→昭和20年まで「鬼畜米英撃滅！」



- ◆「尊王」「攘夷」のためには、何をしても正しいとする考えが横行→官軍意識の元となった
- ◆後の明治政府には尊王攘夷運動で放火・殺人・強盗行為をした元テロリストが何人もいる

横須賀造船所

いまでも稼働している
造船所の第1ドック



随行船

咸臨丸の虚構 二つ

fiction of Kanrinmaru

- 1、「日本人初の太平洋横断」

咸臨丸より250年前に太平洋横断した日本人(田中勝助、支倉常長)

- 2、「日本人だけで航海した」

ブルック大尉ら11名のアメリカ人が嵐の海を乗り切ってくれた。勝海舟は船酔いで寝たきり、動けた日本人は2, 3人

日本が国際的な孤立状態にあるとき、国威発揚の教材として「修身」で咸臨丸を教え国民を奮い立たせた虚構

＊ 江戸幕府の政治を低く評価した明治政府

国定教科書

第1期・明治36年～第5期・昭和20年まで

歴史教科書				修身教科書			
期/教科書名	遣米使節	勝安芳	咸臨丸	教科書名	遣米使節	勝安芳	咸臨丸
第1期(明治37年～) 尋常小学校『小学日本歴史』	記述ナシ	ナシ	ナシ	第1期 『尋常小学修身書』	記述ナシ	ナシ 「勉学」リンコルン	ナシ 「勇氣」高田屋嘉兵衛
第2期(明治43年～) 尋常小学校『尋常小学日本歴史』	ナシ	ナシ	ナシ	第2期 『尋常小学修身書』	ナシ	ナシ 「勉学」新井白石	ナシ
第3期(大正7年～) 尋常小学校『尋常小学国史』	ナシ	ナシ	ナシ	第3期 『尋常小学修身書』	少々アリ (文中傍線部)	「勉学」 勝安芳の話 A型	「勇氣」 咸臨丸の話 C型
第4期(昭和9年～) 尋常小学校『小学国史』	ナシ	ナシ	ナシ	第4期 『尋常小学修身書』	ナシ	「勉学」 勝安芳の話 A型	「勇氣」 咸臨丸の話 C型
第5期(昭和16年～昭和20年敗戦まで) 尋常小学校『初等科国史』	ナシ	ナシ	ナシ	第5期 『初等科修身』	ナシ	「勉学」 勝安芳の話 B型	「勇氣」 咸臨丸の話 D型

国定教科書・歴史

期/ 教科書名	歴史教科書		
	遣米使 節	勝安 芳	咸臨 丸
第1期(明治36年～)	記述ナ シ	ナシ	ナシ
第2期(明治43年～)	ナシ	ナシ	ナシ
第3期(大正7年～)	ナシ	ナシ	ナシ
第4期(昭和9年～)	ナシ	ナシ	ナシ
第5期(昭和16年～昭和20年 敗戦まで)	ナシ	ナシ	ナシ

国定教科書・修身

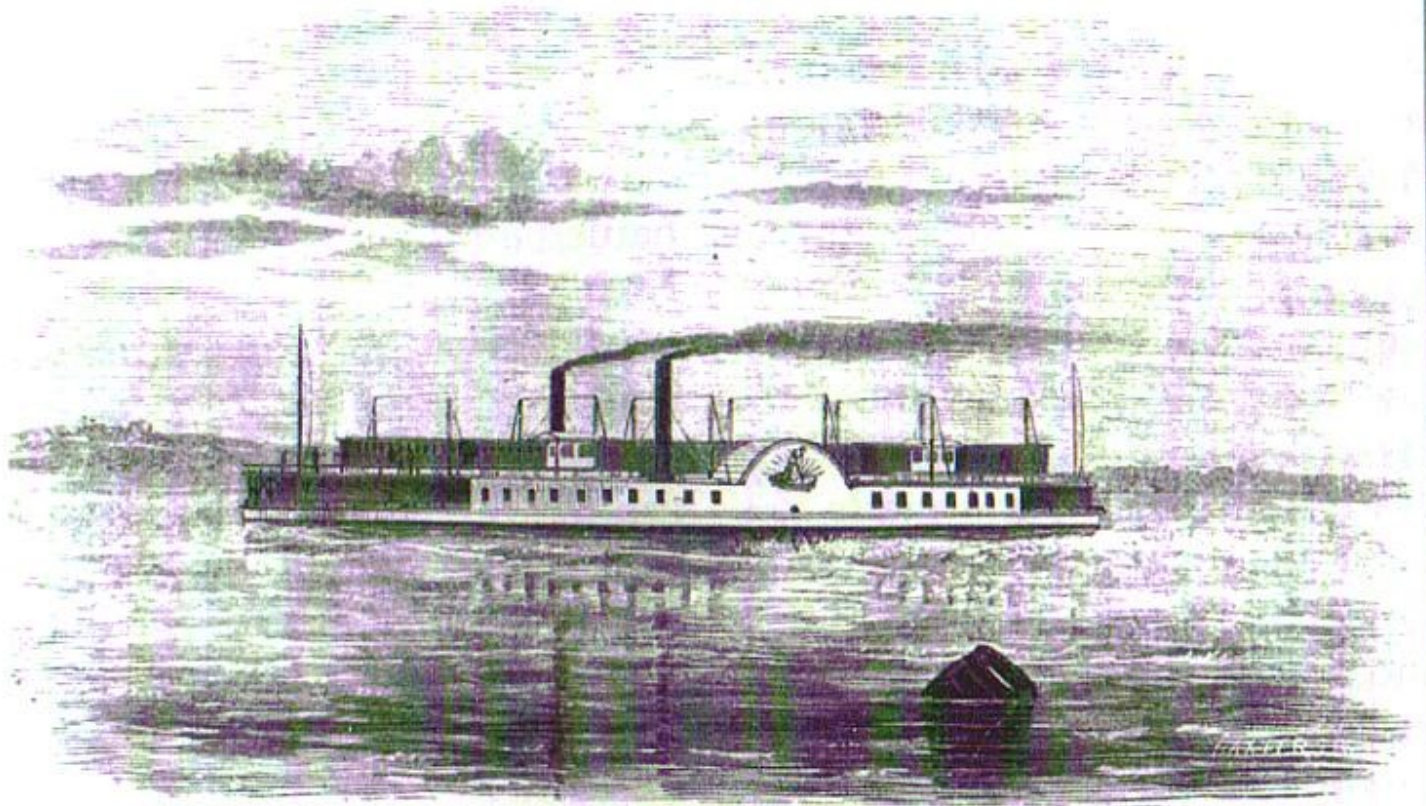
期/ 教科書名	修身教科書		
	遣米使節	勝安芳	咸臨丸
第1期(明治36年～)	記述ナシ	ナシ 「勉学」 リンコルン	ナシ 「勇気」 高田屋嘉兵衛
第2期(明治43年～)	ナシ	ナシ 「勉学」 新井白石	ナシ
第3期(大正7年～)	少々アリ (文中傍線 部)	「勉学」 勝安芳の話 A型	「勇気」 咸臨丸の話 C型
第4期(昭和9年～)	ナシ	「勉学」 勝安芳の話 A型	「勇気」 咸臨丸の話 C型
第5期(昭和16年～昭和20年 敗戦まで)	ナシ	「勉学」 勝安芳の話 B型	「勇気」 咸臨丸の話 D型

日本近代化の背景は260年間の平和

- 徳川幕府は260年間戦争をしない政治
- 平和がもたらす豊かさ＝学問文化の広がりと向上＝識字率70～80%＝急激な西洋文明の受容と近代化を進める力になった(徳川恒孝)
- 明治以後～昭和20年(1945)敗戦まで
77年間戦争続きだった
- 敗戦後～現在 80年間戦争をしない日本だった
- せめて...あと180年続いてほしい

フェリー「メリーランド号」 Maryland サスケハナ河 Susquehanna River

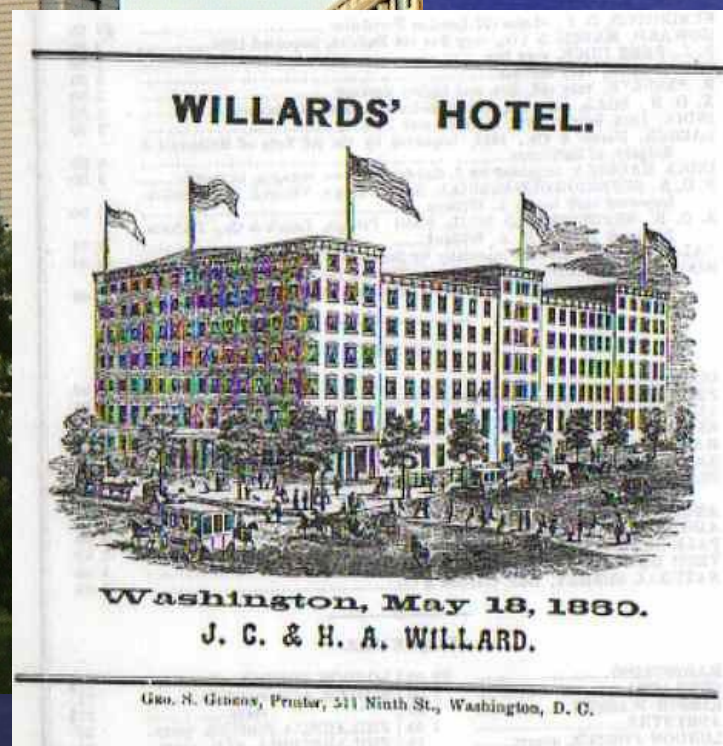
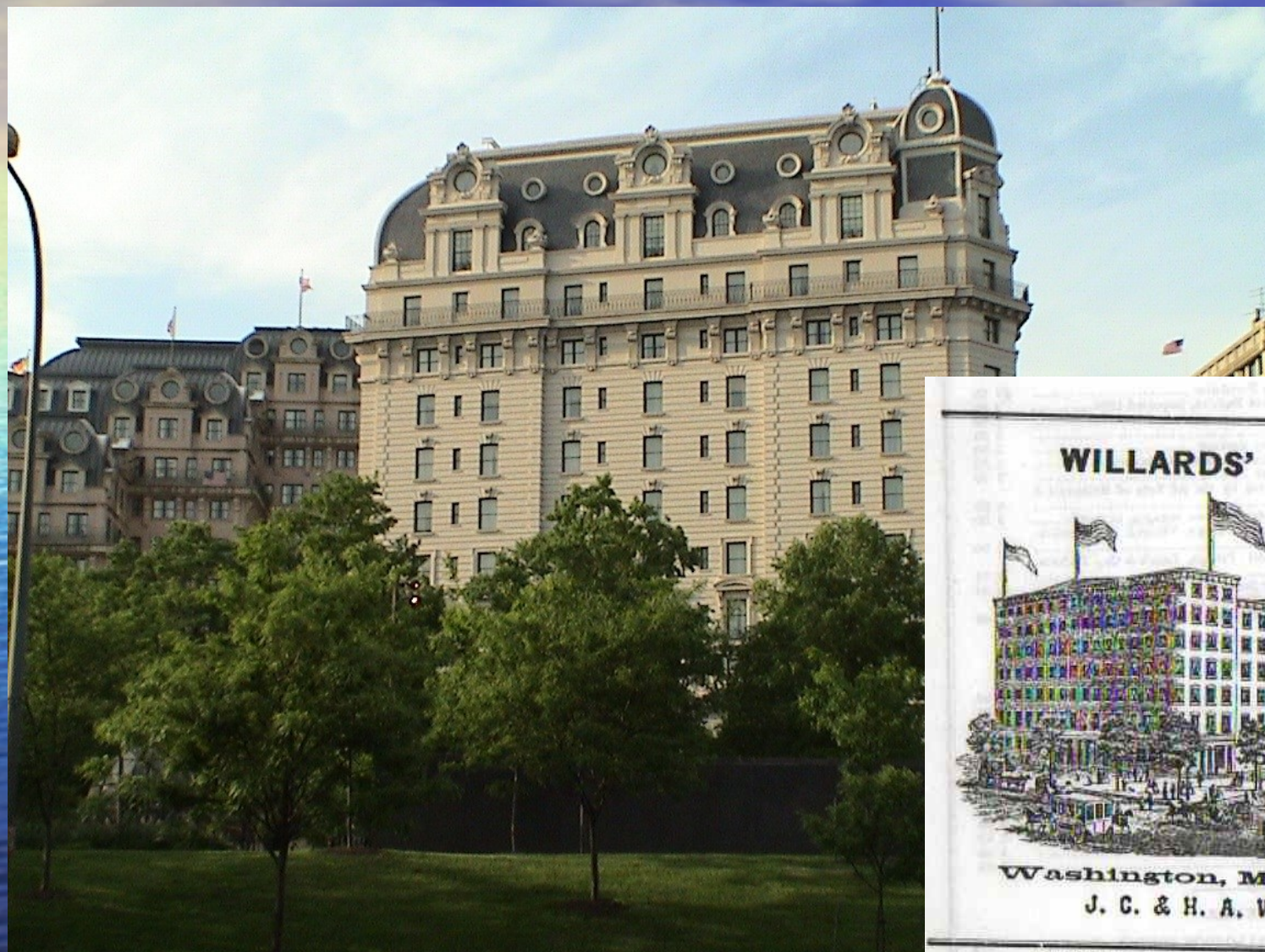
遣米使節が乗ったフェリー
2010平成22年9月8日・バルエアのシェワル氏より



THE IRON STEAM FERRY BOAT, MARYLAND.

ウィラードホテル

ワシントン 現在も営業している



木の国から鉄の国へ

小栗忠順の構造改革

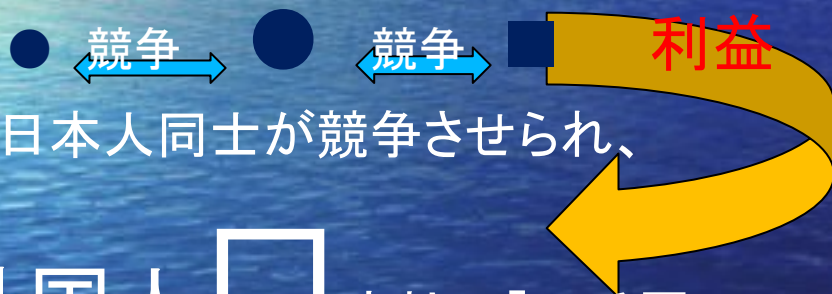
- アメリカは鉄の国だった
ゴミと一緒に捨ててある鉄クズ ホテルの柵は鉄の棒
川に鉄の橋・欄干も鉄・・・
- 木の国日本
足りないものだらけの日本・・・何から手をつけたらいいのか
↓
- 造船所(総合工場)から日本の近代化を図る・・・
造船所は船だけ造るところではない

兵庫商社

役員・定款もそろった日本初の株式会社

〈従来の長崎・横浜の貿易〉

日本の商人・個人＝「薄元手」



* 日本人同士が競争させられ、

外国人 □ 商社＝「元手厚」

利益 は外国人に持ってゆかれている

〈兵庫開港で「兵庫商社」〉

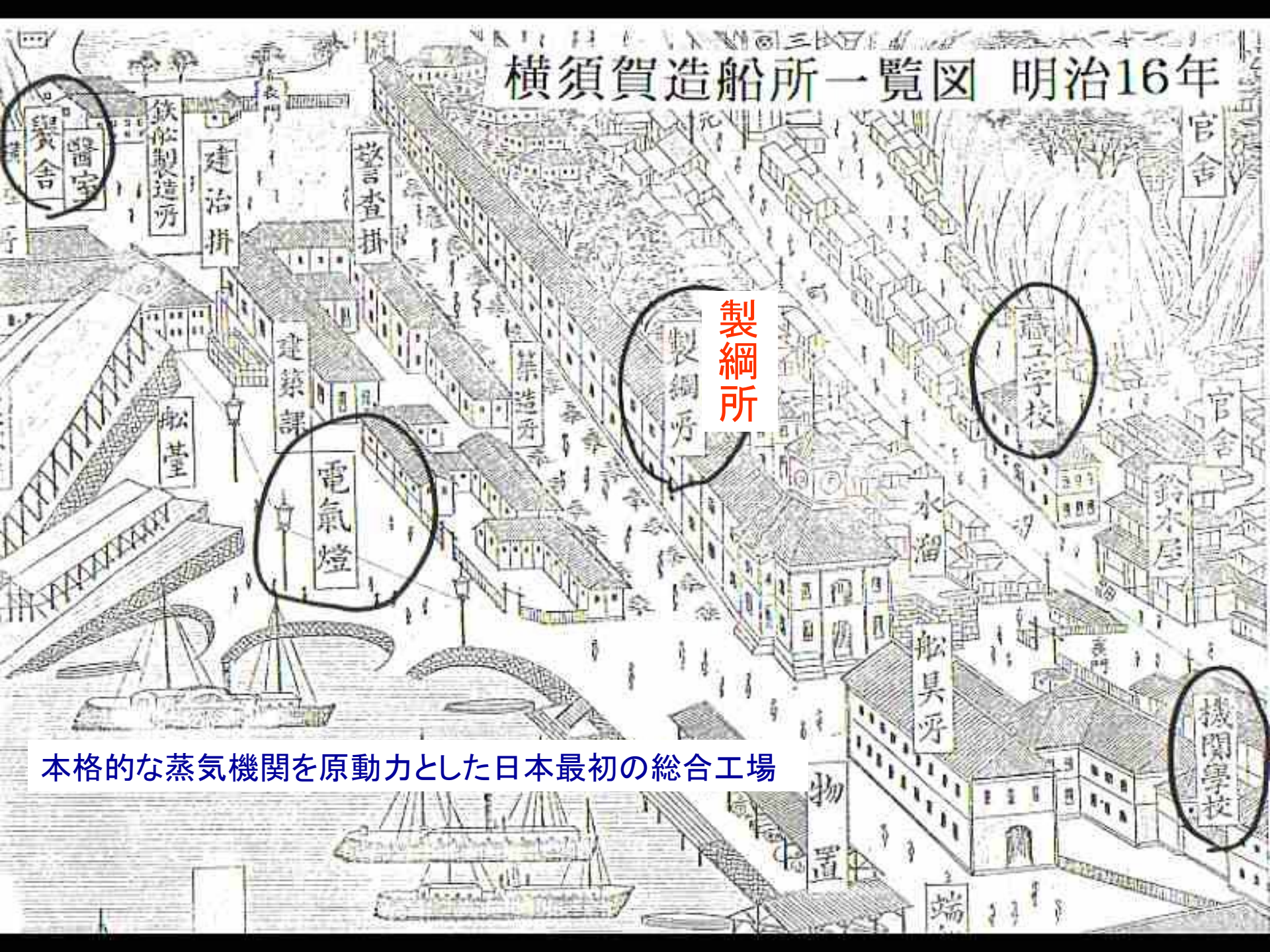
大阪の商人20人一商社組合を組織—誰でも加入できる

利益 (商社利益と政府の関税利益) で

ガス灯・郵便電信・鉄道
・・・を構想

*『広辞苑』「商社」・・・companyを小栗上野介が訳した語

横須賀造船所一覽図 明治16年



本格的な蒸気機関を原動力とした日本最初の総合工場

医家喜多村家出身・
盟友

栗本鋤雲

小栗上野介

終

東善寺境内



**小栗上野介忠順は(1827年7月16日)
に生まれ1868年5月27日)の41歳の生
涯でした。**

**2027年は小栗上野介忠順生誕200年
に当たります。**